

チャンから見る理工ボート部の特徴

第 38 期 三柴和範

みなさまこんにちは。第 38 期の三柴と申します。

私は 1999 年に入学後、中央大学体育連盟漕艇部（理工ボート部のみなさまにとっては、「チャン」との呼び方が主流のようなので、以下「チャン」と記載します）に入部し、4 年間活動後、2 年間理工ボート部で活動させていただきました。

その為、私は理工ボート部にどっぷり浸かった生活を送った訳では無い為、このような執筆ができる立場では無いのですが、下遠野会長より「体育会ボート部と理工ボート部の双方を経験し、感じた事を伝えて欲しい」とのお言葉をいただきましたので、私の感じた理工ボート部の特徴を時系列に並べた幾つかのトピックの中で述べていきたいと思えます。

<理工ボート部への入部の経緯>

チャン在籍時の 4 年間は、エイトで日本一という目標に向かって活動していた為、単位取得が思うように進まず、4 年に進級した時点で研究室配属されず、必然的に 5 年留学が決まってしまうました。（学生時代、留年の原因はボートと考えていましたが、社会人になった今、留年の原因は自分の時間の使い方が下手だっただけと感じています）

チャン引退後、学生生活が続くのであれば、もうちょっと漕ぎたい。けれど、これまでのように活動しているのは、卒業ができなくなるのの思いと、ボート以外の事にも挑戦したいとの思いを巡らせていたところ、理工ボート部での活動を思いつき、当時から熱心にご指導されていた中島監督や、理工ボート部同期の名越君に相談の上、入部させていただきました。

<理工ボート部での思わぬ苦勞>

理工ボート部の活動は、それまでの体育会ボート部とは目標が異なる為、活動内容が大きく変わりました。とりわけ、苦勞したのが新入部員の確保でした。

当時、チャンでの活動は、「勝つこと」を全員が目標に定めており、皆がその目標に向かって活動しているため、部員間の結束が固く、勢いと底上げがあり、部員全体のポテンシャルも高く、勝利を実現できる環境でした。そのような常勝チームであれば、勝つことを目標に掲げた新入部員が入ってくるという好循環だったと思えます。その為、勧誘活動された当時の部長、監督、コーチをはじめとするスタッフ陣は勧誘に苦勞されたと思えますが、我々現場の部員が勧誘に時間を費やされるという事は無く、私は何の苦勞もありませんでした。

一方、理工ボート部はと言うと、当時最年少だった 41 期の山下さんを含め 5 名。これと言った特徴が無く、日々部室に集合しては新入部員確保の手段を相談するも、実行に移す対策が無いまま私は卒業してしまいました。

（その後、中島監督や山下さんをはじめとする OB・OG の方々、現役生のご尽力があり、現在の部員数になったと認識しております。ありがとうございます。）

<理工ボート部での活動>

勧誘活動に頭を抱えつつも、気持ちを切り替え、楽しむべき所は楽しみました。

非常に練習環境が良かった為、当時の私は週 5 回位のペースでシングルスカルに乗艇させてもらいました。(この時の目標はレースで勝つ事では無く、純粹にローイングを楽しむ事でした)

また、理工ボートの部員仲間と相模湖レガッタに出場したり、スキーに行ったりと、ボート以外の活動も積極的に実施しました。もちろん、和気あいあいとした部内の雰囲気は良く、私にとってとても居心地の良い部でした。

理工ボート部での活動で感じた素晴らしい点を簡単にまとめると、

- ・ボート活動に費やす時間を自由に決める事ができる点
 - ・ボート活動をする上でのハード面、ソフト面が充実している点
 - ハード面：学校から比較的近い場所に艇、艇庫、コースが存在する
 - ソフト面：活動を支えてくれる OB/OG が多数いらっしゃる
- ボート活動のみならず、様々な相談にのっていただける

<社会人～現在>

社会人になった今、理工ボート部を介して繋がりを持つことができた OB・OG の皆様方からの教えは、数々の業務上の課題解決や、プライベートを充実させる上で、非常に良いヒントとなっています。

現在、私は自動車会社に勤務しておりますが、ご存じの通り自動車業界は 100 年に一度の大変革期を迎えております。現在携わっている業務も、非常に高い目標を掲げておりますが、数々の OB・OG の方々からご教授いただいた考え方やヒントを基に、根気強くやり抜き、目標を達成したいと考えています。

<ボート競技への恩返し>

最後にこの場をお借りして PR をさせていただきます。

現在、私は地元栃木において、ボート競技の普及に力を入れております。全世代が対象ですが、特に小中学生を主対象とし、将来的に高校、大学、社会人で活躍してもらう事が主目的です。栃木にお住まいの OB、OG の方で、お子様、お孫様にボートを体験させてみたいという方がいらっしゃいましたら、お声がけいただけると助かります。活動場所は、栃木県佐野市の渡良瀬川です。

具体的には、出身校である佐納高校ボート部 OB の有志らと共に、栃木県ボート協会や高校ボート部の先生方の協力を得ながら、昨年からはボートフェスティバルという試乗会を実施し、きっかけ作りをしています。

また、もっと漕いでみたいという中学生を対象に、ジュニアクラブの創設準備をしており、25 年度の発足を目標に準備を進めています。

もちろん、OB・OG ご自身でも栃木で漕ぎたいというご要望がありましたら、お気軽にお声がけください。

以上



著者（出張先の上海にて）



シーズン中は休日の早朝に佐野市渡良瀬川にて乗艇する事が最近の日課



ボートフェスティバルの様子